

蒲田リハビリテーション病院



KAMATA REHABILITATION HOSPITAL

手には技術 頭には知識 患者さまには愛を



患者様の権利と責務

1. 平等な治療を受ける権利があります。

患者様は、その社会的経済的地位、国籍、人種、宗教、年齢、病気の種類によって差別されず、平等な治療を受ける権利を持っています。

2. 治療を自己決定できる権利があります。

患者様は、医師による明確で分かり易い言葉で十分な説明を受けた後で、治療を受ける権利、あるいは治療を受けることを拒む権利があります。

3. 情報を知る権利と情報を提供する責務があります。

患者様は、医師による診断・治療、または変わり得る治療方法・予後、今後予測される問題に関して知る権利を持っています。

患者様は、自身の病状や健康に関する正確な情報を提供し、治療に積極的に参加する責務があります。

4. セカンドオピニオンを受ける権利とプライバシーが守られる権利があります。

患者様は、自分の医療内容に対して、医師と共同して選択する権利、他の医師からの意見・相談を得る

権利、いかなる場合であっても人格的に扱われ、患者様自身の診療に関する全てのプライバシーに関して、万全の配慮を受ける権利を持っています。

5. 相談する権利があります。

患者様は、十分な情報を得て、利用可能な財政的支援について相談する権利を持っています。

6. 良質な医療を速やかに受ける権利があります。

患者様は、効果的医療行為を速やかに行なわれることを要求する権利、継続的に支持、検討された質の高い医療を受ける権利を持っています。

7. 病院秩序を守る責務があります。

患者様は、全ての患者様が安全で良質な医療を受けられるように配慮して頂くとともに、職員が適切な医療を行うことを妨げないよう協力する責務があります。また、医療費を適正に支払う責務があります。

蒲田リハビリテーション病院

基本方針

1. 安心・安全な医療

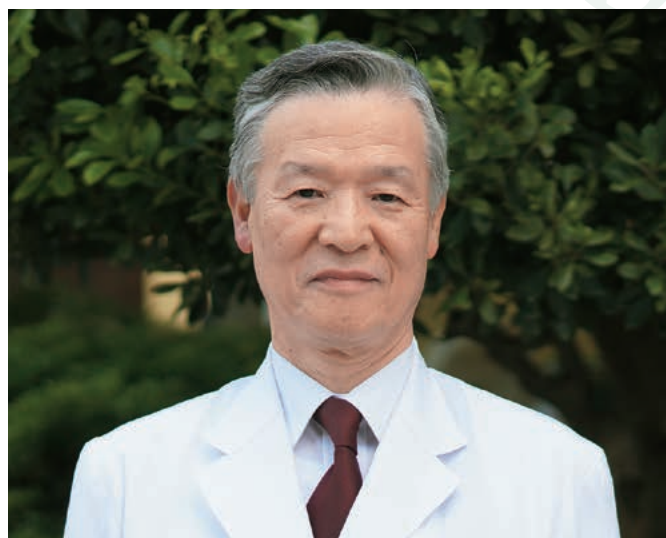
学問的に高い水準の安心・安全な医療を提供します。そのために必要な施設・設備の整備拡充に努めます。

2. チーム医療

患者さま・ご家族と医療情報を共有し、回復期リハビリテーション病院として入院から在宅復帰まで一貫した、患者さまのニーズに沿った安心できるチーム医療を提供いたします。

3. 地域医療

地域の医療・福祉施設と密接な連携をとり、寝たきり「ゼロ」、在宅復帰を目標に誰でも安心して利用できる回復期リハビリテーション病院を目指します。



院長 前原 正明

Tadaaki Maehara

当院は回復期リハビリテーション病院として、2011年(平成23年)5月に開院して以来、お陰様で多くの患者さま、ご家族の方々にご満足いただき、90%以上の患者さまが在宅復帰されています。

当グループの基本理念「手には技術、頭には知識、患者さまには愛を」のもとに、神経内科・脳神経外科・整形外科・総合内科・心臓血管外科・リハビリテーション科・精神科・皮膚科の医師が勤務し、様々な段階の、種々の合併症を持った患者さまに対して、ふさわしい、適切な総合的リハビリテーション医療を実施しています。

この度、私たち蒲田リハビリテーション病院は2024年2月9日に公益財団法人 日本医療機能評価機構より「機能種別版評価項目 3rdG:Ver3.0」の認定を取得しました。

医師・看護師・セラピスト(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)・ケアワーカー・薬剤師・管理栄養士・医療ソーシャルワーカー・事務職等の職員一同が各職種の専門性を発揮し、患者さま中心の良質なチーム医療を365日休みなく提供しています。

これからも、皆さまのご支援、ご指導を賜り、これまでの当院の経験・歴史を生かして、地域の医療・療養・介護機関、開業医の方々との連携を密にとらせていただき、皆さまに更に必要とされ、お役に立てる病院となるよう努力してまいります。



蒲田リハビリター

365日のリハビリテーション実施体制

早期回復には、発症してからできるだけ早く、集中的なリハビリテーションを継続して行うことが効果的とされています。看護スタッフ・リハビリスタッフが、土・日・祝日はもちろん、お盆や年末年始も無休で365日リハビリテーションをバックアップします。



1日最大3時間(9単位)のリハビリテーションを実施

各リハビリスタッフがチームになって、患者さま一人に対し最大1日3時間のリハビリテーションを毎日実施しています。

※2024年度診療報酬改定により整形外科疾患の場合は、リハビリテーション実施上限が設けられました。



スタッフ数362名 (2024年6月1日現在)

- 医師 8名
- 看護師 91名
- 看護補助者 46名 (介護福祉士 23名)
- 理学療法士 98名 作業療法士 50名 言語聴覚士 23名
- 医療ソーシャルワーカー 7名 薬剤師 4名 管理栄養士 3名

【専門資格保持者】

〔医師〕

日本リハビリテーション医学会臨床認定医 2名

〔看護師〕

認知症看護認定看護師 1名 感染症管理認定看護師 1名

回復期リハビリテーション看護師 2名

〔リハビリセラピスト〕

認定理学療法士 (脳卒中) 4名

認定理学療法士 (運動器) 2名

認定理学療法士 (補装具) 2名

認定理学療法士 (介護予防) 1名

認定作業療法士 1名

生活行為向上マネジメント指導士 1名

訪問型ジョブコーチ 5名

心臓リハビリテーション指導士 1名

心不全療法士 4名

呼吸療法認定士 2名

回復期リハビリテーションマネージャー 4名

ション病院の特徴

退院後に充実した生活リハビリ

当院に入院されていた方を対象に、必要に応じて外来リハビリテーションや訪問リハビリテーションを実施しています。

外来リハビリテーション

当院に通院して、身体機能の改善を中心とした訓練を行います。

訪問リハビリテーション

スタッフが直接ご自宅に訪問し、自宅内で必要な動作の訓練等を行います。



彩りのある入院生活

病院にいと忘れがちな季節感をイベントや食事で感じることが出来ます。



健康教室



季節のイベント
(節分)



訪問理美容



イベント食

一人ひとりに最適なプログラム

当院では入院中、患者さま一人ひとりに合わせた計画を立て、専任のスタッフによるリハビリテーションを実施。日中の安全なリハビリテーション活動と良質な睡眠に向け、規則正しい生活を送って頂けるよう、個々に合わせたプログラムを作成しています。

例：ある患者さまの一日の流れ

の中で、患者さまの目標や状態に合わせて個々に1日最大3時間のリハビリテーション訓練が組まれます。

午前のリハビリ開始



在宅復帰へ向けたサポート



月に一度の面談

入院時の面談以外に、月に一度、患者さまとご家族、スタッフ（医師、看護師、リハビリスタッフ、医療ソーシャルワーカー等）が集まって面談を行っています。治療計画や状態をしっかりとご説明し、進み具合や方向性、目標の確認をし、在宅復帰に向けての話し合いを行います。





装具を使った歩行訓練

患者さまに合わせた装具を選び、理学療法士がつき安全に訓練を行います。

更衣動作訓練

訓練でできるようになった動作を、日常でできるように、病棟で見守ります。

食事動作の訓練

患者さまの状態に合わせ、実際のお食事の訓練も言語聴覚士が付き安全に行います。

調理訓練

調理訓練で、献立を考えてから材料を買いに行くこともあります。

午後のリハビリ開始

13:00

個別リハビリテーション

- ◆立位、歩行訓練
- ◆炊事・洗濯・掃除等の応用動作訓練
- ◆装具等を用いた動作訓練など

14:00

レクリエーション

◆離床活動の一環として個別リハビリテーションの間に病棟デイルームにて実施

15:30

面談

◆月に一度、患者さま・ご家族さま、医師・看護師・リハビリスタッフ・医療ソーシャルワーカーで、現状確認と今後についての話し合い

16:00

入浴

週3回行っています

◆患者さまの状態に合わせ、機械浴または大浴場にて入浴

16:40

体操

18:00

夕食

◆自助具・福祉用具を用いた個別介入

18:30

整容動作・更衣動作・排泄動作

◆日常生活動作自立に向け、整容・更衣・排泄動作の訓練

19:00

ナイトレクリエーション

◆週3回行っています

22:00

消灯

家屋調査

退院が近づいたらスタッフが一緒にご自宅に伺い、アドバイスをさせていただきます。退院前にご自宅を調査しておくことで、改修工事や補助具の取り付け、各種保険の申請など、退院後にスムーズな生活が送れるように評価と助言をします。またご自宅の段差に合わせた訓練など、日々の訓練にも活かしていきます。



カンファレンス

1日も早く快適な日常生活を送れるよう、医師、看護師をはじめ、各分野の専門家がチーム体制を組み患者さまを全員で支えます。スタッフ間でのカンファレンスを密に行い、日々の細やかな変化にもいち早く気づき、情報共有することで、早期回復に努めています。



施設紹介

居心地の良い空間

病院全体で「くつろぎ」を大切にしたリラックスできる空間を目指しています。
ご家族と語らいや憩いの場としてゆったりとお過ごしいただけるよう、
広々としたラウンジを設置しております。





歩行の獲得に向けて支援ができるロボット「ウェルウォーク」



手指の麻痺に対して訓練ができるロボット「メルツ」

『ロボットやAIを使ったリハビリテーション機器』

脳卒中や頸椎損傷などで手足を動かすことが難しくなった患者さまに、ロボットやAIを使ったリハビリテーションを提供することが可能です。歩くことが難しくなった患者さまには歩行支援、手指を動かすのが難しくなった患者さまには手指のリハビリテーション支援を行います。

リハビリ設備紹介

充実したリハビリ設備

明るく広々とした開放的な空間に、
最新式のマシンを各種取りそろえておりますので、
効果的なリハビリテーションを行うことができます。
また、退院後を想定した訓練が可能な和室やトイレの設備もございます。



ドライビングシミュレーター



屋上テラス



リハビリ室

技術、知識、真心を備えたスタッフ

医師

チーム医療の司令塔



患者さま一人ひとりの細かい状態を把握し、どのような治療があるかを提案し、患者さまやご家族とも相談して、ご自宅に帰れるよう努めています。

看護師

すべてのスタッフをつなぐ存在



患者さまにより添いながら、寝たきり「ゼロ」、在宅復帰を目標にリハビリテーション科と一体になり、病棟での日常生活に合わせ、「生活リハビリ」を看護の立場で行います。

理学療法士



理学療法では起きる、立つ、歩くなど、基本的な動作ができるように機能回復をサポートしています。主に運動療法・物理療法を用いています。

薬剤師



知識豊富な薬剤師が医師とともに患者さまの状態に一番合った処方箋を調剤。患者さまへの服薬指導をはじめ、回復と再発防止等に努めています。

医療ソーシャルワーカー



入院中の療養生活・退院後の生活の不安や問題を共に解決していく為に、社会保障制度やサービスの紹介、また地域関係機関への調整を行います。

作業療法士



着替えや入浴などご自宅を想定した日常生活の訓練を中心にを行っています。また、家事や職場復帰に向け必要な訓練及び園芸や書道など趣味的な活動も行っています。

管理栄養士



患者さまの病態や体格から、適正な食事提供に努めています。また、退院後も適正な食生活が営まれるよう、患者さまやご家族からの相談、栄養指導も行っています。

医療連携室 看護師



急性期病院からのご紹介を受け、当院への入院を調整します。入院までに、ご家族と面談をし、入院に関する不安を軽減できるようにします。

言語聴覚士



コミュニケーション障害をもった患者さまに、言語や意志を引き出す訓練を行っています。また、嚥下障害のある方には食事を安全に食べられるように訓練を行っています。

ケアワーカー



入院中の食事・入浴・排泄などの生活全般にわたる直接的介護と、自立を助ける援助を行います。

受付スタッフ



ご面会の受付、入院費のお会計、各種診断書のお申込みなどを承っております。ご質問、ご相談がございましたらお気軽にお問い合わせください。

患者さまの声～退院時アンケートより～



※退院時アンケートとは…当院にご入院された患者様に退院時に記入を依頼している、院内独自のアンケートです。

入院患者 満足度 89点！(2023年度)

1. 医師への評価

- ・先生方にはとても親身になって診て頂きました。
- ・優しいドクターでした。



2. 看護師への評価

- ・いつも笑顔で丁寧に対応して頂き安心できました。
- ・笑みを絶やさず、患者さん第一を考えて下さってありがたかったです。



3. ケアワーカーへの評価

- ・いつも不安が和らぐよう気遣ってくれたり、声をかけてくれました。
- ・親身になって対応してくれました。



4. リハビリスタッフの評価

- ・大変熱心に接して頂き、感謝しております。
- ・親身にとっても良くしてくださいました。良く回復したと思います。



5. 入院生活の評価

- ・こちらでお世話になり本当によかったです。また機会がありましたら、こちらを希望します。
- ・トイレ、洗面所がいつも清潔で気持ち良かったです。ラウンジもいつもアルコールで拭いていて衛生的でした。



患者さま、ご家族の皆さまにご満足いただけるよう努めています

回復期リハビリテーション病棟とは

当院は回復期リハビリテーション病院です。脳血管障害や骨折の手術などのため急性期で治療を受けて、病状が安定し始めた発症から1～2ヶ月以降の状態を回復期といいます。この回復期といわれる時期に集中的なリハビリテーションを行うことで低下した能力を再び獲得するための病棟を回復期リハビリテーション病棟といいます。当院では回復期対象の患者さまに対して、機能の回復や日常生活に必要な動作の改善を図り、寝たきり防止と社会や家庭への復帰を目的とした、各患者さまごとのリハビリテーションプログラムに基づき、医師、看護師、ケアワーカー、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医療ソーシャルワーカー、薬剤師、管理栄養士等が共同で集中的なリハビリテーションを提供いたします。

回復期リハビリテーション病棟の対象患者

対象疾患		入院期間
1	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷の発症後もしくは手術後、又は義肢装着訓練を要する状態	150日
	高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷および頭部外傷を含む多部位外傷	180日
2	多肢の骨折、大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折	90日
3	外科手術又は肺炎などの治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後	90日
4	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷後	60日
5	股関節又は膝関節の置換術後の状態	90日

■入院までの手順

STEP 01 急性期病院からのご紹介

入院中の病院の担当医師から回復期リハビリテーション病院への転院を提案されます。
また当院へ転院をご希望の場合は担当医師にご相談下さい。



入院している病院の担当者様から当院へご紹介があります。



STEP 02 判定会から入院前の院内見学・面談

当院で受け入れができるかを、医師が判定会で検討します。



結果は病院の担当者様にご連絡します。※結果は担当者様にご確認下さい。



ご家族様から当院の医療連携室にお電話をお願いします。



《入院前面談》

医療連携室（平日）9:00～16:50

TEL 03-5767-7103



STEP 03 入院日の決定のお知らせ

入院日の調整を行い、病院の担当者様にご連絡します。

日程は担当者様からご家族様にご連絡します。

※入院は原則午前中となっています。※転院時の移動手段（介護タクシー等）は担当者様とご相談下さい。



STEP 04 入院

持参する必要物品（詳細は当院ホームページからもご確認いただけます）

①健康保険証【またはマイナンバーカード】 ②介護保険証（お持ちの方のみ）

③郵送または面談時にお渡しした記入書類 ④紹介状 ⑤お薬手帳

⑥退院時に渡されたお薬と書類 ⑦印鑑（シャチハタ以外） ⑧日用品

・下着、靴下 ・上履き（運動靴等） ・ボックスティッシュ ・マスク

・洗面用具（歯ブラシ、歯磨き粉、プラスチック製コップ） ・A4サイズ紙袋（洗濯物入れ）

・（義歯使用中の方）義歯容器、洗浄用ポリデント ・ヘアーブラシ ・眼鏡 ・補聴器、替え電池

・（男性）電気シェーバー、充電器 ・コインランドリーご利用の方は洗剤

入院実績 DATA

2023年度 (2023年4月1日～令和5年3月31日)

新規入院患者数

858名

平均年齢

74.3歳

在宅
復帰率

95.2%



患者満足度

当院に点数をつけるなら?
(100点満点)

89.0点



※総合的に当院を100点満点で評価すると何点になるかを評価

1日のリハビリ時間

平均

たっぷり充実したリハビリ!

約2時間40分/日

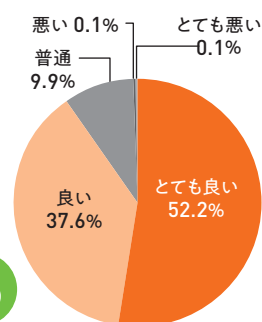


※全国平均2時間 (2024年3月調べ)

リハビリの内容

良い、とても良い

89.8%



住所地

その他(都外)

①東京都

63.3%

横浜市 11.0%

川崎市 14.7%

その他(都内)

2.3%

世田谷区 2.0%

品川区 8.4%

大田区 50.6%

疾患別内訳

脳血管
疾患

32.0%

運動器
疾患

58.4%

廃用症候群 9.2%

対象外 0.4%

脳血管疾患 32.0%

運動器疾患 58.4%

疾患別
平均在院
日数

平均

64.8日



実績指数(アウトカム)

リハビリテーションの実績を評価する指標
リハビリテーションの質の評価
(基準: 40以上)

平均

52.9

カマチグループ 関連病院一覧

社会医療法人財団 池友会



一般社団法人 巨樹の会



医療法人社団 巨樹の会



社会医療法人社団 東京巨樹の会



医療法人社団 銀緑会



総計

- ◇病床数（全28施設）：5,511床
- ◇セラピスト数：3,455名
- ◇看護師数：4,253名
- ◇延床面積：320,982㎡（97,069坪）

蒲田リハビリテーション病院

東海道本線

蒲田駅

大田区役所

「大森駅行」
2番のりばバス停

蒲田中

マルエツ

メリーチョコ

ジェイ・ローソン

ファミリーマート

「大森西四丁目」
バス停

蒲田小学校

あやめ橋

東邦医大通り

ジョナサン

「東邦大学」
バス停

東邦大医学部

東邦大大森病院

ライフマチノマ

ローソン 100

はま寿司

まいばすけっと

11

京急蒲田駅

梅屋敷商店街

出口

入口

梅屋敷駅

15

大田区総合体育館

京急本線

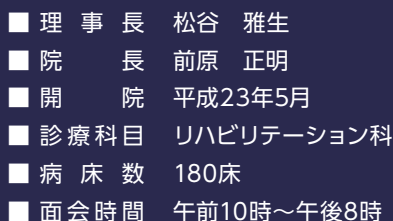
第一京浜

TSUTAYA

大森町駅



〒143-0015 東京都大田区大森西4-14-5 TEL 03-5767-7100 FAX 03-5767-7107



- JR線「東急線」蒲田駅 東口下車
 - ▶路線バス2番のりば大森駅行き（バス約7分）
大森駅行き【東邦大学】バス停下車徒歩約5分
- JR線「大森駅」東口下車
 - ▶路線バス1番のりば蒲田駅行き（バス約20分）
蒲田駅行き【東邦大学】バス停下車徒歩約5分
- 京浜急行線「大森町駅」西口下車徒歩約13分
- 京浜急行線「梅屋敷駅」下車徒歩約15分
- 羽田空港国際ターミナルよりお越しの方
京急空港線「羽田空港国際線ターミナル駅」から「京急蒲田」へ
「京急蒲田」から乗り換えて「梅屋敷駅」で下車し徒歩15分
- お車でお越しの方
指定駐車場「タイムズ大森西4丁目」
（当院すぐ横）…1時間まで無料

2024.03